

◇◇ 近畿病院図書室協議会 ◇◇

平成18年度 第33回 総会 報告

日時：2007年3月23日（金）

13：00～15：00

会場：コープ・イン・京都

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記選出

議長：小田中徹也（国立病院機構
京都医療センター）

副議長：藤平佳代（大阪府赤十字血液
センター）

書記：河野尚美（姫路赤十字病院）

3 議案審議

1）平成18年度活動報告

2）平成18年度会計・監査報告

3）平成19年度活動方針

4）平成19年度事業計画

5）平成19年度予算

6）役員改選

7）平成19年度会長・事務局長承認

（議案3）～7）は審議の結果承認された）

閉会

総会員数：125機関（うち議決権123機関）

出席：31機関

委任状：76機関（会員の2/3以上の数を
みだし総会成立）

議案Ⅰ．平成18年度活動報告

はじめに

平成18年度は近畿病院図書室協議会所蔵雑誌

目録 Web 版（Kinki Webcat）の正式稼働とそれに伴うメンテナンス事業を中心に活動を行った。幹事会は、新旧の入れ替わりがあり、新規に2名を加えた8名の幹事で会運営にあたった。昨年同様、幹事数が少なかったため、役割分担に苦慮した。今年度は従来事業の継続とネットワークのさらなる構築に向かった一年といえよう。

継続事業のうち教育研修活動では、定例の研修会を2回、新任むけの勉強会を1回行った。また実習を伴う製本の勉強会も行った。しかし、近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館近畿・中国・四国地区協議会との協同開催によるシンポジウムは、残念ながら今年度内には実現しなかった。その他、公開シンポジウム「これからの医療情報を考える！Part 2」の案内を受け、後援をすることになり、会員へ広報した。第113回研修会は例年のごとく、2007年3月23日に第33回総会とともに「事例・研究報告会」として開催する。

出版広報活動では、会誌『病院図書館』第26巻を定期刊行した。連載や報告記事のほか、各号ともユニークな特集を組んだ。発行の遅れはかなり取り戻すことできたが、4号発行は4月になる予定である。また、ISBNを取得し『病院図書館』で連載をしてきた「What's EBM？」を別冊として出版した。

協議会ホームページについては徐々にリニューアルし、各種案内、事務局便りなど、今までよりタイムラグなく掲載することを目指している。広報活動のツールとしてさらなる有効利用をしていきたい。

医学文献情報活動では、Kinki Webcat の正式稼働を開始した。実際に稼働してみると、不具合や修正が必要な箇所が出てきたことと、担

当者からの質問などに答える窓口が必要とのことから「目録サポートチーム」を立ち上げ、作業にあたっている。

今年度の統計調査は詳細調査の年に当たっていた。集計した報告書は会員へ配布する。

対外交流では、日本医学図書館協会とは総会への出席、会員の文献相互貸借など、従来通り交流を深めた。その地区会である近畿地区医学図書館協議会とは地区例会へのオブザーバー出席などで親密に交流した。日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流があった。また、ライフサイエンス系図書館団体連絡会のワーキンググループ（健康医療情報ポータルサイト作成などの活動）に、当協議会より協力員1名を派遣した。各団体の長による連絡会議も開催され、今までの経緯と今後の活動についての説明ならびに協力要請があった。

今年度の研究助成金制度の活用には2題の継続研究と2題の新規研究の申請があった。研究成果については事例・研究報告会で発表する予定である。

I-1-1. 研修部

[第21回勉強会]

日時：2006年7月22日 13：00～17：00

場所：京都桂病院

会費：500円

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会について
2. 病院図書館の基本業務
3. ILL業務の基本

講師：研修部/事務局

参加者：12名(研修部3名を含む：非会員1名)

[第111回研修会]

日時：2006年8月11日 10：00～17：00

場所：大阪ハイテクノロジー専門学校

本館2階パソコンルーム

プログラム：

1. PubMed/医中誌 Web Ver. 4 /JDream II

の基本操作説明

株式会社サンメディア e-Prot

立道 勉氏

2. 看護研究支援を目的とした検索指導

大阪府立大学学術情報センター

学術情報課 大前富美氏

3. Web 版データベース解題と基本的な使い方

株式会社サンメディア e-Port

立道 勉氏、衣笠美穂氏、長谷川智史氏

4. 近畿病院図書室協議会総合目録 web 版の使い方

株式会社サンメディア

ネットワーク事業部 大西幸雄氏

5. 図書館利用者へのPubMed 検索指導

東京慈恵会医科大学学術情報センター

阿部信一氏

参加者：50名（会員44名、会員外6名）

[第22回勉強会]

日時：2006年9月30日 13：00～16：00

場所：洛和会音羽病院ウイントップビル

2階会議室

講師：藤原 孝氏（京都ノートルダム女子大

学司書課程非常勤講師；「図書の修理

と製本」担当）

参加者：8名

[第112回研修会]

日時：2006年12月1日 10：30～17：00

場所：関西労災病院

プログラム：

1. 臨床研修指定病院の蔵書構築

洛和会音羽病院 桑村純子氏

2. 施設（図書室）紹介

関西労災病院 寺澤裕子氏

3. 初心者のためのブックコーティング講習

フィルムルックス株式会社

岡部健一氏

4. 看護研究支援の模索

東京都老年学情報センター

宮本孝一氏

5. 「MEDLINE with Full Text」の紹介
EBSCO Publishing Japan
鈴木智之氏

6. 食事療法と薬物療法との葛藤－エビデンスはどちらにあるか？
帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科
柳 元和氏

参加者：29名（会員26名、会員外3名）

〔第113回研修会：事例・研究報告会〕

日時：2007年3月23日 10：00～12：00

場所：コープイン京都

会費：500円

プログラム：

1. 蔵書構築研究班2006年研究活動報告
洛和会音羽病院 藤原純子氏
2. 国外における一般市民への医学情報提供の現状(文献的考察)
－医学図書館による公共図書館への指導－
松下記念病院 若杉亜矢氏
3. 図書館担当者の専門性に関する文献研究
関西労災病院 寺澤裕子氏
4. Kinki Webcat の使い方
－目録サポートチームからの紹介－
京都桂病院 神山貴子氏
5. 病院における仮想患者図書館をさぐる
－事例を参考に－
住友病院 松本純子氏

参加者：38名

今年度は、3回の研修会と2回の勉強会を行った。テーマとしては Kinki Webcat の正式稼働を前にして、ネットワークと情報の活用を取り上げた。また、実習に重点をおいた研修プログラムを目指した。

第21回勉強会は例年通り、初心者向けのものとして、近畿病院図書館協議会についての説明と病院図書館業務の基本についての講習を行った。

第111回研修会では Kinki Webcat の正式稼働に時期を合わせ、参加者へのパスワードの配布

と実務研修を行った。また、担当者として身につけておきたいデータベースの基礎知識と、それを利用した利用者指導を学ぶことができた。利用者教育は必要と思いつつも、なかなか実行できない業務の一つである。指導テクニックを実際に体験する貴重な時間となった。

第22回勉強会は実習のため、人数を限定して行った。製本・補修の実習は作業に思う以上の時間をとるものだと知った。今後も継続して製本技術を学び、日常業務に生かせればと考える。

第112回研修会は、年度当初の企画段階で、テーマを「Electronic Resources Librarian のための EBM・EBN・EBH 情報解題」「研修医受け入れのための必備図書解題」としていた。そのため、どのような情報源があるのか図書館担当者がまず知ることからはじめ、どのようにして図書館利用者に案内し、図書館蔵書として構築整備していくべきかなどを、講師と共に考えていくプログラムとした。

平成18年度近畿地区医学図書館協議会（等）シンポジウムには当協議会からも実行委員を派遣し企画が検討されたが、残念ながら年度内の実現にはいたらなかった。

その他、公開シンポジウム「これからの医療情報を考える！Part 2」の案内をいただき、後援することにした。また、「平成18年度著作権セミナー大阪開催」についての案内をいただいたので、会員に広報した。

全体を通して見ると、今年度は通常の研修会での参加者は予想以上に多く、よい会場に恵まれたこともあって、充実した研修会をもつことができた。また、少人数ではあったが、実習中心の勉強会など例年とは趣の違った研修活動を行った。昨年度同様、初めての参加者も多かった。昨年の総会で研修活動の今後の検討課題としていた会場確保の問題は、幸い今年度は問題なく乗り越えることができた。しかしながら、各施設を利用した研修会開催が困難な状況にあることには変わりなく、今後も何らかの手だて

を考える必要があろう。

今年度は昨年同様、幹事の数が出なかったため、変則的ではあるが、林事務局長が部長をつとめた。研修部員としてはメンバーの交代があり、幹事としては京都桂病院の神山貴子氏、部員として大阪府立母子保健総合医療センターの中村雅子氏、洛和会音羽病院の藤原純子氏の協力を得た。

第111回研修会で Kinki Webcat にかかわりをもったことから、参加者からの質問が研修部に寄せられることがあった。そのため、サポートチームとして研修部からも作業にあたることになった。これについては別途報告する。

今年度は新部員を迎えることができ、今後は従来の研修会にとらわれない企画ができるのではないかと考えるが、まだまだ手が足りないのが現状で、研修部員として活動していただける方を必要としている。アンケートの実施などを通して、研修会活動に対する要望を取り上げていけるような、よりよい研修活動を行い、協議会全体としての資質向上を目指していきたい。そのためにも研修部員としての活動への参加を切に望む。

I-1-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌25巻4号および26巻1、2、3号を発行。

配布部数：225部（会員125、講読会員74、交換・寄贈26）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

25巻（2005年）

4号（発行 2006年4月 67頁）

特集1：コメディカル部門を知る

当院における病院薬剤師の業務と役割および図書室の利用と連携について

理学療法士と図書室

病院における歯科衛生士としての役割

病院での臨床工学技士の役割

東洋医療系専門学校図書室の利用者への関わり方—蔵書と広報活動について—

図書室から利用者への情報発信

特集2：サマーセミナー2005

東海目録 Web 版 (TOMcat) の運営について

長野県病院図書館連携アンケート調査報告ワークショップ

グループ1 患者さんへの医療情報の提供

グループ2 文献入手状況をどう整えているのか

グループ3 臨床研修医制度と病院図書館医薬品と情報

26巻（2006年）

1号（発行 2006年8月 46頁）

特集：図書館づくりとレイアウト

これからの病院図書館のプランニング

桜図書館のサイン

関西労災病院の場合

新しい図書室へ—三菱京都病院の場合—

高知医療センターなるほどライブラリ

病院図書館のサイン

2号（発行 2006年10月 55頁および別冊会員名簿 42頁）

小特集：総会・事例報告会（第110回研修会）

病院図書室の業務分析（第1報）—図書室

担当者の専門性は生かされているか—

長野県でのネットワーク活動について

小規模専門図書館における図書館システム

の検討

総会記念講演

公共図書館における医学情報提供サービ

ス—可能性と課題—

解説

病院における医療ソーシャルワーク業務の

実際

3号（発行 2007年1月 49頁）

特集：研究支援

図書室利用者へのPubMed 検索指導

医中誌検索オリエンテーション

論文の書き方

【有意差】の意味—統計的検定を用いた医療系論文を理解するために—

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

- 20. SUNMEDIA とくくとくたびく (Vol. 25 No. 4)
- 21. インターネット禁煙マラソン (Vol. 26 No. 1)
- 22. Lib-Line (Vol. 26 No. 3)

「電子資料解題」

- 4. JDream II (Vol. 26 No. 2)

「図書館の小物たち」

- 2. 蔵書印 (Vol. 25 No. 4)
- 3. 図書館だより (Vol. 26 No. 1)
- 4. 図書館の注意書き (Vol. 26 No. 2)
- 5. 雑誌の装備 (Vol. 26 No. 3)

「ちょっとこぼれ話」

- 14. (Vol. 25 No. 4)
- 15. (Vol. 26 No. 1)
- 16. (Vol. 26 No. 2)
- 17. (Vol. 26 No. 3)

(3) 掲載広告各社

サンメディア
 科学技術振興機構
 ユサコ
 医学中央雑誌刊行会
 ベルブック
 丸善
 ナカバヤシ
 南江堂

(4) 編集会議

- 第1回 2006年4月15日 茨木
- 第2回 2006年5月20日 茨木
- 第3回 2006年9月2日 茨木
- 第4回 2006年11月11日 茨木
- 第5回 2007年1月27日 茨木

2. 今年度総括

会誌発行は軌道に乗ってきているが、26巻4号の3月中発行は微妙である。

中山健夫先生の連載記事を冊子化した「What's EBM?」は1月に発行できた。

今年度も積極的に会員の図書館員に原稿を依頼した。今年原稿を書いていたいただいた方々の労に少しでも報うことができるよう、これまでステープル止めしていた別刷りを表紙付きの簡易製本に変えた。シリーズ「図書館の小物たち」の中では、読者の方々に親しんでいただけるようカラーページを採用した。

今後もこれまで同様会員のための協議会誌であることを編集方針とし、会員の興味を引くテーマを掲載すると共に、会員自身に執筆を依頼し、両面から会員のスキルアップに寄与していきたい。

3. 部 員

部 長：増田 徹 (藍野大学)

部 員：井上智奈美 (三菱京都病院)
 寺澤 裕子 (関西労災病院)
 松尾 知香 (石切生喜病院)
 若杉 亜矢 (松下記念病院)

I-1-3. 統計調査部

今年度は詳細調査の年にあたり、毎年実施される年度統計のほかに図書室管理機能・サービス機能についても調査を行った。調査項目については、これまでの調査結果を参考に選択項目を増やすなど内容を一部修正した。

1. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：平成17年度 (2005年3月1日～2006年3月31日)
- b. 調査対象：全会員125会員中、賛助会員を除く123会員に依頼
- c. 調査項目：図書室管理機能、サービス機能、年度統計
- d. 作業経過：

2006年10月12日 調査用紙を各施設へ発送
 2006年10月18日 ホームページに統計調査
 発送の告知と回答依頼
 2006年11月16日 回答締切日
 2006年12月～2007年2月 未回答施設へ回

答依頼

2007年 2月28日 回答最終締切り

2007年 3月中旬 統計調査報告書発送予定

e. 回答施設：85施設 (2/28現在の回答率 69.9%)

2. 文献の相互利用—平成17年度協議会全体での件数— (2007年 2月28日)

—相互貸借依頼— (85施設)

協議会会員	7,378	(18.5%)
会員以外の病院	5,438	(13.6%)
大学図書館	16,688	(41.8%)
文献手配業者	7,917	(19.9%)
その他	2,456	(6.2%)
合計	39,877	(100.0%)

—相互貸借受— (85施設)

協議会会員	6,417	(51.7%)
上記以外の病院	5,153	(41.5%)
その他	848	(6.8%)
合計	12,418	(100.0%)

3. 経費

支出：

調査用紙コピー代

@10円×6枚×123通=7,380円

調査用紙送料 @80円×123通=9,840円

文具購入費 1,168円

郵便はがき @50円×25枚=1,250円

業務委託費 (未定)

報告用紙コピー代 (未定)

報告用送料 (未定)

I-1-4. ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

2006年 6月 8日 「会員名簿」を更新

2006年 6月18日 「催し物・行事案内：掲示板」の名称を「掲示板：KHLA Forum」に変更し、スパム投稿に対処

2006年 8月11日 フロントメニューの「会員所蔵目録」に「所蔵雑誌目録 Web版」を追加

2006年 9月28日 「会員名簿」を更新

2. 今年度総括

今年はスパム対策に追われ、ホームページ全体のアップグレードまで手がけることができなかった。今後はアクセスログから判断し、利用の少ないサイトについてページの内容を検討し、会員のための情報発信の場として役立つホームページへと改良していきたい。

3. 部員

部長：佐藤 道子 (兵庫県立光風病院)

部員：小田中徹也 (国立病院機構京都医療センター)

I-1-5. 目録サポートチーム

冊子体「医学雑誌総合目録」が Web版「所蔵雑誌目録」として刊行されたのを機会に、昨年度までの目録編集部は研修部員参加のもとに、「目録サポートチーム」を新たに発足させ、事務局の下に設置した。所蔵雑誌目録 Web版は当協議会では初めての試みであり、今後の各会員機関での利用方法および所蔵データ修正指導について研修会の場を活用するために、研修部員の参加が必要である。これまでの作業として2007年 1月に画面表示上の仕様変更の検討を行い、幹事会にて承認後、同変更を株式会社サンメディアへ依頼し、同年 2月にデータ確認修正と仕様変更に伴うデータ入力依頼を各会員へ送付した。今後、データの不具合などの改善点を検討・修正を行い、利用しやすい「近畿病院図書館協議会所蔵雑誌目録 Web版 (Kinki Webcat)」を整備していく。

I-1-6. 会員業績 (当協議会内関係での発表は除く)

[論文発表]

(1) 山室真知子 (京都南病院)

病院図書館における医学情報をめぐる図書館間の連携. LISN. 2006 ; (130) : 1-4.

(2) 若杉亜矢 (松下記念病院), 山下ユミ, 福島美知子, 小田中徹也 (国立病院機構京都医療センター)

禁煙治療ガイドライン作成のための文献検索. 薬学図書館. 2006 ; 51 : 264-268.

[口演発表]

- (1) 山室真知子 (京都南病院)
医学・健康情報提供サービス—京都南病院の現状と公共図書館への期待 (講演)
平成18年度大阪府図書館司書セミナー (大阪) 2006. 9. 15.
- (2) 山室真知子 (京都南病院)
医学・医療情報を必要とする人々へのサービス (事例報告)
第13回 JMLA 医学図書館研究会 (仙台) 2006. 11. 9-10.
- (3) 若杉亜矢 (松下記念病院), 山下ユミ, 福島美知子, 小田中徹也 (国立病院機構京都医療センター)
禁煙治療ガイドライン作成のための文献検索 (一般口演)
第23回医学情報サービス研究大会 (千葉) 2006. 7. 15.
- (4) 中村雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (一般口演)
患者と患児と患児の保護者のための「親と子のとしょかん」整備について
第23回医学情報サービス研究大会 (千葉) 2006. 7. 16.
- (5) 春日井泉江 (豊橋市民病院)
「医学図書館」誌を読む—参加者によるreview と討論
東海地区医学図書館協議会・平成18年度実務担当者会議 (岐阜) 2007. 3. 19.

[ポスター発表]

- (1) 寺澤裕子 (関西労災病院), 山室真知子 (京都南病院), 中村友紀 (星ヶ丘厚生年金病院)
図書館員の業務分析—専門性は活かしているか?—
第23回医学情報サービス研究大会 (千葉) 2006. 7. 15-16.

[シンポジウム]

- (1) 山室真知子 (京都南病院)
テーマ: 医学情報をめぐる図書館コラボレーション (参加者企画)
演題: 病院図書室からの医学情報の提供
第23回医学情報サービス研究大会 (千葉) 2006. 7. 15
- (2) 山室真知子 (京都南病院)
テーマ: 協働の医療 ヘルス・リテラシーと病院図書室の役割
演題: 患者図書室の歩みと展望
NPO「医療の質に関する研究会」(東京) 2007. 2. 10.
- (3) 山室真知子 (京都南病院)
これからの医療情報を考える! Part 2 (パネルディスカッション)
大阪市立大学医学部医療研修センター (大阪) 2007.3.3.
- (4) 山室真知子 (京都南病院)
テーマ: 情報公開がもたらす医療の質と安全
演題: 病院図書室における患者・家族への医学情報提供
日本予防医学リスクマネジメント学会 (大阪) 2007. 3. 18.

I-2-1. 幹事会

今年度は4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

- 第1回 (2006/04/18): 京都南病院
- 第2回 (2006/07/04): 国立病院機構京都医療センター
- 第3回 (2006/10/03): 関西労災病院
- 第4回 (2007/01/25): 大阪労災病院

I-2-2. 役員会

2007年2月14日、京都南病院において平成18年度役員会が開催された。役員会資料 (平成18年度議案書草案) に沿って議事進行し、平成18年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成19年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても

同様に審議され、追加訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成19年度会長については新会長として社会保険神戸中央病院西尾晃院長が推薦され、役員会の承認を得た。また、事務局長には林伴子現事務局長(社会保険神戸中央病院司書)が再選された。会則に則り、それぞれ今年度の第33回総会に諮ることになった。

I-2-3. 会員の状況

会員数：125機関 (2007年1月現在)

入会：1機関：学校法人大阪滋慶学園(大阪)

退会：2機関：松原徳洲会病院 (大阪)、
西宮市立中央病院 (兵庫)

I-2-4. 対外交流

日本医学図書館協会の第77回総会(2006/05/25-26)へは今回から一部公開となったため、研修会・分科会へ幹事の若杉亜矢氏、神山貴子氏が参加した。総会へは個人会員の山室真知子氏が参加した(当協議会からの派遣)。今後も同様な扱いとなると思えるが、交流の機会を持つためにも会員の中の医学図書館協会個人会員の協力を得るなど、検討が必要である。

第90回近畿地区医学図書館協議会例会(2006/04/23)、第91回同例会(2006/11/17)へは事務局長の林伴子氏が出席した。

平成18年度近畿地区医学図書館協議会(等)シンポジウムは研修部員の中村雅子氏、桑村純子氏が実行委員として加わったが、残念ながら年度内の開催はできなかった。

ライフサイエンス系図書館団体連絡会のワーキンググループ協力員として、幹事の若杉亜矢氏を当協議会より派遣し、会議などに参加し、作業にあたることになった。また、これに関連して各団体の長による連絡会議が持たれた。当協議会からは清水会長の名代として、京都南病院司書の山室真知子氏が出席した。

その他、研修部からの報告にも記載したが、公開シンポジウム「これからの医療情報を考える! Part 2」(主催：大阪市立大学大学院創造都市研究科学生共同研究プロジェクト)の後援をすることにした。また、「平成18年度著作権セミナー大阪開催」(主催：文化庁、大阪府教育委員会、大阪府立中央図書館、大阪市教育委員会、大阪市立中央図書館)についての案内をいただいたので、会員に広報した。

議案Ⅱ. 平成18年度会計・監査報告

平成18年度 会計監査

(収入の部)

単位 円

予 算		決 算	
費 目	金 額	費 目	金 額
前年度繰越金	2,025,884		2,025,884
会費	4,420,000	会費	3,830,000
平成18年度		平成18年度	
@30,000×124	3,720,000	@30,000×117	3,510,000
@50,000×2	100,000	@50,000×2	100,000
平成16・17年度未納		入会金	10,000
@30,000×20	600,000	平成16・17年度	
		@30,000×7	210,000
事業収入	781,900	事業収入	350,600
会誌購読会費		会誌購読会費	
平成18年度		平成18年度	
@6,000×76	456,000	@6,000×34	204,000
未納		未納	
@5,700×37	210,900	@5,700×18	102,600
		@6,000×1	6,000
		売上@1,500×3	30,000
総合目録未納	115,000	総合目録未納	35,000
研修会費	115,000	研修会費	140,000
定例研修会		定例研修会	
@2,000×30×1	60,000	@1,000×43	43,000
@1,000×30×1	30,000	@1,500×6	9,000
事例報告会		@1,000×24	24,000
@500×35×1	17,500	@1,500×4	6,000
勉強会		事例報告会	
@500×15×1	7,500	@500×40	20,000
		勉強会	
		@500×9	4,500
その他		@1,000×7	7,000
広告掲載料		@500×1	500
25巻	333,000	利息	392
計	7,675,784	計	6,320,876

決算 (収入)

決算 (支出)

費 目	金 額	費 目	金 額
前年度繰越金	2,025,884	総会費	144,950
会費	3,830,000	業務委託費	30,300
		事務費	35,980
		通信費	112,300
		交通費	103,290
事業収入	464,600	事業費	4,435,103
会誌購読会費	315,600	会誌発行費	2,893,070
総合目録CD-ROM	35,000	別冊発行費	350,000
研修会費	114,000	研修会費	266,613
		目録サポート	525,420
		webワーキング	400,000
		研究助成	
		対外活動費	198,000
		資料費	20,916
		会誌費	45,980
利息	392	雑費	0
計	6,320,876	計	5,126,819

上記決算については、会計監査を終了しました。

平成19年3月10日

木下久美子 印

倉石 恵 印

(支出の部)

単位 円

予 算		決 算		備 考
費 目	金 額	費 目	金 額	
総会費	150,000	総会費	144,950	選挙費用、議案書作成費用、特別講師謝礼・交通費
業務委託費	400,000	業務委託費	30,300	会費請求、他
事務費	150,000	事務費	35,980	事務用品、銀行手数料他
通信費	150,000	通信費	112,300	事務局・各部会連絡
交通費	200,000	交通費	103,290	会員通知他
事業費	5,860,000	事業費	4,435,103	役員会、幹事会、各部会、
会誌発行費	3,900,000	会誌発行費	2,893,070	JMLA近畿地区例会、他
別冊発行費	300,000	別冊発行費	350,000	会誌25(4)26(1-3)発行費
研修会費	400,000	研修会費	266,613	別冊 (What's EBM?)
目録サポート	400,000	目録サポート	525,420	定例研修会、事例報告会、
webワーキング	100,000	webワーキング	400,000	勉強会
研究助成	400,000	研究助成	400,000	総合目録web版
統計調査	60,000	統計調査		活動経費
その他の事業	300,000	その他の事業		2005年度報告書作成・送料
対外活動費	300,000	対外活動費	198,000	2006年度調査報告経費
資料費	60,000	資料費	20,916	JMLA総会派遣費、他
資料管理費	70,000	資料管理費		雑誌購読料、他
会誌費	150,000	会誌費	45,980	病図協所蔵資料
予備費	150,000	予備費		会場使用料
雑費	35,784	雑費		履歴費、接遇費
計	7,675,784	計	5,126,819	

議案Ⅲ. 平成19年度活動方針

昨年同様、病院図書館を取り巻く状況の厳しさに変わりはなく、各施設の担当者の交代もしばしば目にするようになった。

今年度はネットワークと情報の利用についての研修活動を、研修会、会誌上でとりあげてきた。今後も、医療情報を担うエキスパートを養成することが期待されている。専門知識の習得に従来取り組んできたが、今後も担当者のスキルアップを目指すことが活動方針の基本と考える。

さて、今年度は新幹事2名を迎えたが、一方で2名の幹事が勇退されたので、事業を分担するには十分な数とはいえなかったが、Kinki Webcat の正式稼働にともなうサポート活動や、ホームページのリニューアルなどに取り組むことができた。しかし、まだ緒についたばかり

りで、今後の作業によってよりよいものを作り出すことができるであろう。

幹事のあり方については先年より検討課題であるが、見直しの基礎資料としてのアンケート調査は今年度も実現できなかった。協議会事業の継続、発展のためには今以上に人材を必要としている。円滑な協議会運営のためには会員の協力が不可欠であるが、幹事、各部ともなかなか人員が集まらないのが現状である。この状態を打破するためにも、来年度は現状の把握と、今後の協力体制のあり方についての意見収集を目的としたアンケートを実施し、今一度、会員の責務を考えていただき、さらなる協力をお願いしたい。

そして、一部会員への負担を減らす試みとして任期制、当番制、地区代表制などを検討し、機関加盟の利点を生かした運営方法の検討をさらに加えていきたい。

今年度は Kinki Webcat が正式稼働した。しかし、書誌情報などまだまだ不具合が多く、修正箇所がいくつか出てきており、各会員からの正しい情報発信が不可欠である。サポート体制も整ってきつつあるので、ようやく立ち上がった所蔵データベースをいかにうまく育てていくかが課題といえよう。

昨年度より研究助成金制度を開始したが、今年度も4件の応募があった。来年度も年10万円、3年の更新を可として新規・継続の研究助成金の申請を募集する。

以上を総括して、来年度の当協議会活動では必要な継続事業を進めつつ新たな事業・目標を模索し、対外的にも広く協力活動を行い、運営・事業活動については新旧世代の交代を円滑に図っていくことを課題とする。

議案Ⅳ. 平成19年度事業計画

1. 医学文献情報活動

- * 医学雑誌現行情報の収集と目録のメンテナンス

2. 教育研修活動

- * 研修会（セミナー形式）・勉強会の開催
- * 関連団体の研究研修会への案内と参加奨励
- * 研究助成金制度の継続

3. 出版広報活動

- * 会誌『病院図書館』の季刊発行
- * ホームページの継続と内容更新

4. 年次統計などの調査活動

- * 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- * 関連団体との交流・連携

議案Ⅴ. 平成19年度予算

(収入の部)		(支出の部)		単位 円
費目	金額	費目	金額	摘要
前年度繰越金	1,194,057	総会費	150,000	選挙費用、議案書作成費用、特別講師謝礼・交通費
会費	4,170,000	業務委託費	100,000	会費請求、他
平成19年度		事務費	100,000	事務用品、銀行手数料他
@30,000×123	3,690,000	通信費	150,000	事務局・各部会連絡
@50,000×2	100,000	交通費	200,000	会員通知他
新入会		事業費	5,610,000	役員会、幹事会、各部会、JMLA近畿地区例会、他
@40,000×2	80,000	会誌発行費	3,900,000	会誌26(4)27(1-4)発行費
平成17-18年度未納		研修会費	400,000	定例研修会、事例報告会、勉強会
@30,000×10	300,000	目録サポート	600,000	総合目録web版
事業収入		webワーキング	100,000	活動経費
会誌購読会費	918,900	研究援助	400,000	2006年度報告書作成・送料
平成19年度		統計調査	60,000	2007年度調査報告経費
@6,000×75	450,000	その他の事業	150,000	
未納		対外活動費	250,000	JMLA総会派遣費、他
@5,700×16	210,900	資料費	50,000	雑誌購読料、他
@6,000×43	258,000	資料管理費	70,000	病協協所蔵資料
	918,900	会誌費	100,000	会場使用料
その他		予備費	100,000	
広告掲載料	657,000	雑費	59,957	慶弔費、接遇費
25巻	327,000			
26巻	330,000			
計	6,939,957	計	6,939,957	